

そこで兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によ って、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

2015(27)年 週 報

8月16日

第3聖日

第3417号

「心のうちに住むキリスト」

聖言

こうしてキリストが、あなたがたの信仰によって、あなたがたの心のうちに住んでいてくださいますように。また、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、エペソ3:17、18

礼拝の恵み 第二一章 第八節 礼拝の障害 (つづき)

第六節 分派心

その組織が分派でないことを主張する集会でも、そのような主張をしない集会よりもはるかに党派的行動する場合があるのは、悲しむべきことである。われわれが集まる時に、あなたのみ名を愛する火はみな、ここでわれわれの歓迎をうける、と歌うのは結構であるが、歌うよりもはるかによいのは、実際に行くことである。そうすれば分派根性という障害は除かれ、礼拝はすこしも妨げられずに神にまで上ることができるのである。

(「礼拝」ギブス)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一五年八月九日午前一〇時 礼拝 山本牧
「内なる人を強くし」

「どうか父が、その栄光の豊かさに従い、御霊により、力をもつて、あなたがたの内なる人を強くしてくださいますように。」
(エペソ三ノ一六)

祈り 今日長崎に原爆が投下されこの年目の聖日です。長崎天主堂の真上で爆発しました。アメリカは教会であることは事前に調査したはずです。もし、聖日なら午前一時五分は礼拝中でした。悪魔が考え出したとしか形容できない核兵器が十字架の上で炸裂しました。十字架は敗北したのでしょうか。無力だったのでしょうか。黒焦げになった母親の乳房を捜す乳飲み子。黒焦げになった子供を抱いて助けてくださいと叫んでいる母親、地上に一足早く地獄が実現したのです。以来七〇年の節目の年、全世界は戦い危機に陥いています。神様日本と世界をお救いください。教会にイエス様の十字架の贖いによりいち早く御国を来たらせてください。そして、神様の栄光を表してください。主イエス様のお名前によりお祈りします。

自動的に掃除をするロボットができました。お金があればこれほど楽な時代はありません。反面大変恐ろしい時代です。最近も外人が交際相手の日本人を生きのまま布団に包んで海に投棄して殺しました。五体満足でも、正常な社会生活の出来ない若者が激増しています。三〇、四〇歳代の生活保護者が増えています。パウロはエペソの信者のために祈りました。それは父、

すなわち天の父に祈ったのです。日本はお盆です。お坊さんがお参りに来てお経を唱えてくれます。しかし、キリスト教は天の父なる神様。子どもが父親にあまえるように、天のおとうちゃん、と祈ることができません。お父ちゃんだから、何でも祈れる。偉大な天のお父さんは子どもの真実の幸せを考えているから、なんでもかんでも、与えてくれない。必要なものを与えてく打差います。パウロの祈りは自分の願ひ出なく、エペソの信者のために祈りました。第一は「父のその栄光の豊かさに従い、御霊により、力をもつて」。全宇宙を創造された神様の栄光の豊かさに従いとは、神様の豊かさの一部分を求めたのではなく、全てを求めたのです。そのような途方も無い豊かさを、エペソの信者の心に与えてくださいと祈ったのです。第二は内なる人を強くしてください。と祈りました。人間は二面性を持ちます。人間の外部とは肉体、知能、才能、です。多くの人は人間の価値を外なる人で判断します。内なる人は心、精神、霊です。見えないので、外部より重要視しません。しかし、神様は外より内を重要視します。ダビデは八人兄弟の末っ子でした。預言者サムエルサレムが神様に命じられて王になる人物をエツサイの息子の中から選ぶように命じられました。サムエルが良いと思って、選んだ息子を神様はよいと言われませんでした。最後に末のダビデが選ばれました。人はうわべをみるか神様は心を見られます。外なる人を立派にするために人間は努力します。しかし、内なる人は神様により造られるのです。ペテロとヨハネが午後三時の祈りのために宮に行くと思つた人が物乞いをしていた。彼はペテロから金をもらえろと思つたが、ペテロは彼をじつと見つめ「金銀は無い。しかし、ナザレのイエスの名によりて歩め」と命じ、手をとって立たせると、

彼は立ち上がり踊り出しました。彼は内なる人が強められたのです。・・・「そして、このイエスの御名が、その御名を信じる信仰のゆえに、あなたがたがいま見ており知っているこの人を強くしたのです。イエスによつてあたえられる信仰が、この人を皆さんの目の前で完全ならだにしたのです。」(使徒三章) 文字どおりには生まれつき足のきかない男性が歩けるようになったのですが、もし、イエスの御名を信じなくなるなら、再び歩けなくなつたでしょう。ゆえにこれも外なる人が強くなつたより、内なる人が強くなつたと言えます。

「コリ四ノ一六」ですから、私たちは勇気を失いません。たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。」

二〇一五年八月一二日午後七時 祈祷会 山本牧師

「驚くべき神の教会⑤」

「門口と格子窓と三段になつた回廊とは、床から窓まで羽目板が張り巡らされていた。また、窓にはおおいがあつた。入り口の上部にも、神殿の内側にも外側にも、これを囲むすべての壁の内側にも外側にも彫刻がしてあり、(エゼキエル四一ノ一六、一七)

入り口の上部にも、神殿の内側にも外側にも、これを囲む、すべての壁の内側にも外側にも彫刻がしていました。すなわち羽目板の上になつめやしとケルビムの彫刻をしてその上に金を延べた豪華な内装で神殿は覆われていました。外は弱弱しく見えて蔑まれたけれども内側は輝いておられたイエス様のお姿をあらわしています。私たちも外なる人は破れても内なる人は日々新たにされるのです。エゼキエルの示された神殿は書いた通りのものが実現されますが、霊的に、預言的には主の姿を示しています。「イエスは彼らに言われた。「この神殿をこわして

みなさい。わたしは、三日でそれを建てよう。」そこで、ユダヤ人はたちは言った。「この神殿は建てるのに四六年かかりました。あなたはそれを、三日でたてるのですか。」しかし、イエスは御自分のからだの神殿のことを言われたのである。「ヨハネ二ノ一九ノ二一)

エゼキエルが幻の神殿を示されましたが、やがて六〇〇年後にお生まれなられる主イエス様を預言しているのです。

仮庵聖会終わる

聖会は川之江西田先生が急用のため、足達先生と山本で行われました。六八年も続く聖会を死守できました。特筆することは、半年振りである兄弟が

出席され、神戸フィラデルフィヤ教会大嶋義直牧師が三回の集会に出席され、以前コンサートにこられた婦人と近くの青年が出席されたことでした。今回の聖会はテサロニケ人第一の手紙を通して、パウロが約一か月という驚異的な期間で建てた異邦人教会テサロニケ人への手紙を通して信仰の三本柱、信、望、愛を行動で表し、聖潔は内部的純潔は性的誘惑からの勝利から始まること、また再臨にそなえて、イエス様の十字架によって罪を解決された罪人が再臨の主の元に携挙されることを再確認させられました。一同、今、火と聖霊のバプテスマを授けてください。聖霊に満たしてくださいと祈り求めました。クリスチャン以上に人格的に魅力ある方々は沢山おられます。しかし、泥水でも波風がたたなければ、上部は澄んでいて、飲んでも害の無いように感じます。しかし、底からかき混ぜればヘドロと悪臭と沈んでいた過去の廃材が浮き上がってきます。これが、神様の前の人の心の内部です。ただ、主イエスの血潮だけが、清めてくださったのです。ひとり、ひとり霊的な祝福を体験しました。